

考え、話し、 変わる日本へ。 だれひとり 取り残さない

立憲民主党
埼玉県第1区総支部長 **たけまさ 公一**



うそっぱちの自民党政治にNO! 政権の受け皿として選択肢を!

衆議院補欠選挙自民全敗

4月28日に行われた東京、島根、長崎の3か所での衆議院補欠選挙は、立憲民主党候補者が当選しました。自民党は島根を含め全敗となりました。自民党裏金問題、子ども子育て支援金の財源としての保険料引き上げ、安全保障政策の議論なき転換など「うそっぱちの国民不在の自民党政治」にNOが突き付けられました。

岸田内閣は総辞職すべき事態ですが、政権にとどまるのであれば、政治資金規正法は野党案に従って成立させ、会期末には解散総選挙で国民の信を問うべきではないでしょうか？

一方、国民の皆さんの意見（民意）は、必ずしも「立憲民主党」YESでないことは承知しています。「政権交代があたりまえのまっとうな政治」の実現には、政権の受け皿たる選択肢をきちんと示します。

特に、経済・外交安全保障・社会保障・教育などの分野で、財源も明らかにして政策を深掘りして示してゆきます。

子ども子育て支援金 保険料 引き上げは無しに

4月立憲民主党は「子ども子育て支援金のための保険料引き上げ」を廃止する法案を提出しました。国民の実質的な負担はないとされた岸田総理の答弁は嘘で、月額保険料引き上げが1000円（年収600万円）を廃止する内容です。

財源は、日本銀行のETF（上場投資信託）を国債発行して政府が買い取り、その分配金収入を子ども子育て支援金に充てることを法案に盛り込んでいます。

今後、防衛予算増額を賄う「防衛増税」が予定されています。基金残高16兆円を取り崩せば増税しなくて済む計算になります。こうした財源の裏付けのある対案を示します。

円安是正には政権交代を

歴史的円安が止まりません。国際金融市場の投機家たちは、政府日本銀行が「円安容認」であること、日本銀行がアベノミクスの負の遺産（国債を500兆円保有）から利上げが簡単にはできないことをそれぞれ見抜いています。日本銀行の保有国債を利払い不要にする等対策が必要です

「実質賃金のマイナス（賃金上昇が物価上昇に追いつかない）」が23カ月連続です。物価高騰の原因は「円安」です。昨年、日本経済新聞はガソリン価格高騰の原因の8割は「円安」であると報じました。5月1日には、400品目以上の食料品が値上げしました。しかも、30%以上の値上げが相次ぎます。1ドル150円台の「円安」が続けば、秋以降、値上げラッシュになると言われます。

「円安」を是正し、1ドル120円から130円の安定的な為替相場の実現のため、「政治の枠組みを変える」以外ありません。政権交代が必要です。

自民党裏金問題(その5)

6月末の会期末に向けて、衆参両院に政治改革特別委員会が設けられ政治資金規制法の改正に向けて審議が始まりました。自民党裏金問題を受けての法改正です。立憲民主党はじめ野党は①議員本人への連座制導入②企業団体献金禁止③政策活動費の廃止でほぼ一致しています。デジタル化は当然のことです。公明党もほぼ野党に近いと報じられています。あとは、自民党だけです。

そのうえで、審議を通じて、①自民党裏金議員への税務署の調査②自民党裏金議員の証人喚問を行うことで、自民党の裏金が何に使われて、どれだけ日本の政治をゆがめ、失われた30年に追い打ちをかけたかを、明らかにします。

1人1人を大事にする企業、地域、国に

「失われた30年」の間になくなったものは、企業では、
①福利厚生施設 ②運動部と運動施設 ③社内の教育・研修
④海外留学・海外研修 ⑤海外拠点です。増えたのは、給料も低く福利厚生の必要が薄い非正規社員とパートタイムの従業員です。

改めて、一人一人の勤労者を大事にする企業、地域、国にしなければ日本の立て直しはできません。600兆円に及ぶ企業の内部留保を、そして大企業優位の取引慣行を是正して、給与増に、社員教育・研修の充実に、そして、グローバルな展開のために、社員教育や海外拠点づくりに、さらに、企業の研究開発投資に、大学大学院改革を通じたポストドクター問題の解決に、くわえて、育児休暇や福利厚生の充実、職場環境改善に向けなければなりません。

そして、ドイツを見習い、国民一人当たりの官民合わせた投資額を5倍に、最低2倍に引き上げることで、日本の立て直しは可能となります。

権限財源を企業、国民の身近に「分権」

行き過ぎた「株主優先、経営者優先」の経済を見直し、特に、建設業、運送業など、大企業と中小企業の取引関係における第1次から第5次にいたる重層の下請け構造を見直す必要があります。そうでなければ、中小企業は価格転嫁できず、利益が確保されず、給与の引き上げができません。

特に、コロナ禍で、各種補助金の「中抜き」が見られたことも、見直しが必要です。必要な企業や人に必要な額が全額、素早く届くためには、補助金などを受け取る企業や人の一番身近なところで、意思決定が行われることが必要です。

だからこそ、各種権限財源の「(地方)分権」が欠かせません。

「中央集権」の自民党政治にピリオドを打たせてください、政権交代があたりまえのまっとうな政治の実現に、お力をお貸しください。

イベント案内

● 女性の会2024 吉武まつ子withファミリー～情熱の歌とフラメンコ～夏のひと時コンサート & たけまさ公一後援会総会

● 7月1日(月) 開場13時30分/開会14時～16時

● ロイヤルパインズホテル浦和 4階ロイヤルクラウン

● イベントの申し込み、問い合わせ先

● 参加費 2,000円 コーヒー付き

● ゲスト 吉武まつ子(うた) 吉武大地(うた) 吉武萌(うた・フラメンコ) 熊井麗音(ピアノ)



立憲民主党埼玉県第1区総支部 たけまさ公一事務所 さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F
Tel.048-832-3810 Fax.048-832-3846 voice@takemasa-k.jp リンク先申し込みフォームもご利用いただけます。



立憲民主党 埼玉県第1区メンバー



武田 和浩
見沼区県議



野本 玲子
浦和区県議



添野 ふみ子
浦和区市議



三神 尊志
見沼区市議



佐々木 郷美
見沼区市議



堤 日出喜
緑区市議

たけまさ(武正)公一 埼玉県第1区総支部長

1961年生まれ。うし年。B型。浦和区大東3丁目在住。妻と一女一男。木崎小・木崎中・浦和高校・慶應義塾大法学部政治学科卒業。松下政経塾出身。

1995年埼玉県議初当選。2000年衆議院議員初当選、以後6期務め外務・財務副大臣・衆院憲法審査会会長代理を歴任。2017年に議席を失うが、チャレンジを。



立憲民主党埼玉県第1区総支部 たけまさ公一事務所

〒330-0074
さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F
TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846 voice@takemasa-k.jp

たけまさの政策や実績、最新のイベント案内、たけまさ日記など、様々な情報を発信中！たけまさで検索！

takemasa-k.jp
たけまさ公一公式サイト

